

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和3年度 第1回 佐渡市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施連携会議
開催日時	令和3年5月20日(木) 15時15分開会 17時00分開会
場所	トキのむら元気館 第2・3会議室
議題	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>参加者 (公務員除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体8名 (公務員) ・社会福祉課 課長補佐 兵庫 研司 ・高齢福祉課 課長 吉川 明 ・高齢福祉課 地域包括ケア推進室 室長 出崎 弘美 事務局 ・市民生活課 課長 磯部 伸浩 ・市民生活課 健康推進室 保健係 係長 田村 京子 ・高齢福祉課 高齢福祉課係 係長 石塚 美好 ・高齢福祉課 高齢福祉課係 主任保健師 飯田 真由美 ・両津支所 福祉保健係 係長 木下 久美子 ・相川支所 福祉保健係 主任管理栄養士 吉良 美代子 ・羽茂支所 福祉保健係 主任保健師 鶴間 利恵 ・市民生活課 保険年金係 調査員 秋場 和久 ・市民生活課 保険年金係 主任保健師 石塚 秀美 ・市民生活課 保険年金係 主任 丹穂 沙耶香
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 No. 1 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について」 ・資料 No. 2 「佐渡市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施連携会議設置要綱」 ・資料 No. 3 「佐渡市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業検討体制イメージ」 ・資料 No. 3-2 「佐渡市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施連携イメージ」
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
市民生活課長	<p>1. 開会のあいさつ</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施については、関係機関、関係部署が連携し、一体となって取り組んでいく必要がある。市長は高齢者対策として、「日本一の健康寿命」を政策の方針に掲げ、連携して取り組んでいくことを重要視している。市内の高齢者の自立した生活ができる期間の延伸、QOL（生活の質）の維持、向上を図るため、活発なご意見、ご検討をお願いしたい。</p>
保険年金係主任保健師	<p>2. 説明『高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について』資料 No. 1～3 により説明。質疑なし。</p> <p>3. グループワーク</p> <p>『概要説明及び佐渡市の状況を聞いた感想、各関係機関から見た実態』</p>
<p>2 グループ</p> <p>委員A氏</p> <p>委員B氏</p> <p>高齢福祉課長</p> <p>市民生活課係長</p> <p>相川支所主任管理栄養士</p>	<p>KDBシステムのデータは分析には大事なデータだが、KDBデータに反映されない、健診未受診者などの未把握の部分について、実態把握事業を活用できるとよい。</p> <p>運動習慣については、みんなで集まってできると良い。すでにいろいろな教室はあるが、参加者が少ない。インセンティブを与えることで参加者を増やしてはどうか。また、誘ってくれる人がいると行ってみようと思うのではないか。</p>
<p>1 グループ</p> <p>委員C氏</p> <p>委員D氏</p> <p>市民生活課長</p> <p>高齢福祉課係長</p> <p>高齢福祉課主任保健師</p>	<p>健診などに出てくる方はデータから情報が取れ様子が分かるが、健診や教室に出てこない方が心配。そういう方の情報を得られるとよい。実態把握事業において、効果的な訪問の仕方等を検討できるとよい。</p> <p>包括支援センターで高齢者の情報を得るために、民生委員の定例会などに参加して、顔つなぎをしている。民生委員や嘱託員、健康推進員などから気になる人の情報をもらえるとよいのではないか。</p> <p>歯科医師会では、今年度オーラルフレイルについての研修会を予定している。歯科医でもむせに関する対応はすごく難しい。研修会を開催し県歯科医師会とも連携しながら進めていきたい。口への関心・意識は人によってかなり差があるように感じる。まずは口腔ケアをいろいろなところで啓発し、意識を高めていかななくてはいけない。</p> <p>どの世代でも運動習慣がないことについては、農作業をうまく使った教室などをやったらどうか。また、シルバー人材セン</p>

<p>3 グループ 委員E氏 委員F氏 高齢福祉課室長 羽茂支所主任保健師</p>	<p>ターの活動をより活発にすることで、高齢者が元気になるのではないか。</p> <p>元々痩せている方が入院をして安静を保つことで、更に痩せてしまう。そうするとなかなか治療が進まない、回復しないということがある。しっかり体重があることは大事。</p> <p>口腔ケアについて、高齢者はなかなか治療が続けられなかったり、歯がなくても柔らかいものなら歯茎で噛める、ということで食事に偏りがでて低栄養につながったりということがある。歯の健康は取り組む必要がある。</p> <p>運動習慣について、自分の足で最後まで歩けることが大事。高齢期になってから運動しましょうと言っても、習慣がなければ難しい。50～60代くらいから運動を始められるとよい。運動や農作業等、体を動かして生活能力が上がる活動をするとうよい。スポーツでなくても農作業や家事でもいいから、体を動かすことが健康に繋がることを伝えていくとよい。</p> <p>独居の高齢者も増加してきている。独居の方が入院後、地域に帰れる社会のしくみをもう少し考えられるとよい。</p>
<p>4 グループ 委員G氏 委員H氏 社会福祉課課長補佐 両津支所係長</p>	<p>KDBデータを使って健康状態を分析することはとても重要。そして改善するためにどうするかを考えることが大事。しかし、その結果が還元されないとよくない。市の保健師で情報を共有し、状態を見て、またデータを取るということを繰り返していく作業ができるとよい。</p> <p>配食サービスについて、もっと効果的にできるとよい。例えば管理栄養士が講習会等を実施し、配食サービスの業者が弁当のメニューを作るヒントになるとよい。また、弁当については、ご飯ありとおかずのみの選択ができるようになるとうよい。</p> <p>買い物支援について、デマンドの乗り合いバス等やっているが、思い通りにならないなどという声がある。備蓄や近所の付き合いで何とかカバーしている状況があるので、何とかできるとよい。</p> <p>認知症について、認知症が進むと引きこもりの要因になる。それを防ぐためにはサロンの継続が大事だが、スタッフはどんどん減少している。サロンの担い手を養成していくことが大事。</p>
<p>保険年金係主任保健師</p>	<p>貴重な意見をたくさんいただき、イメージが見えてきた意見もあった。KDBデータの分析をし、それを還元するようという意見もいただいた。まずは今後の専門部会で専門職の皆さんに還元したい。</p> <p>一体的実施は佐渡市全域からではなく、一つの日常生活圏域</p>

からでもよいことになっている。優先順位の高い地区から始めていきたい。

4. 閉会